

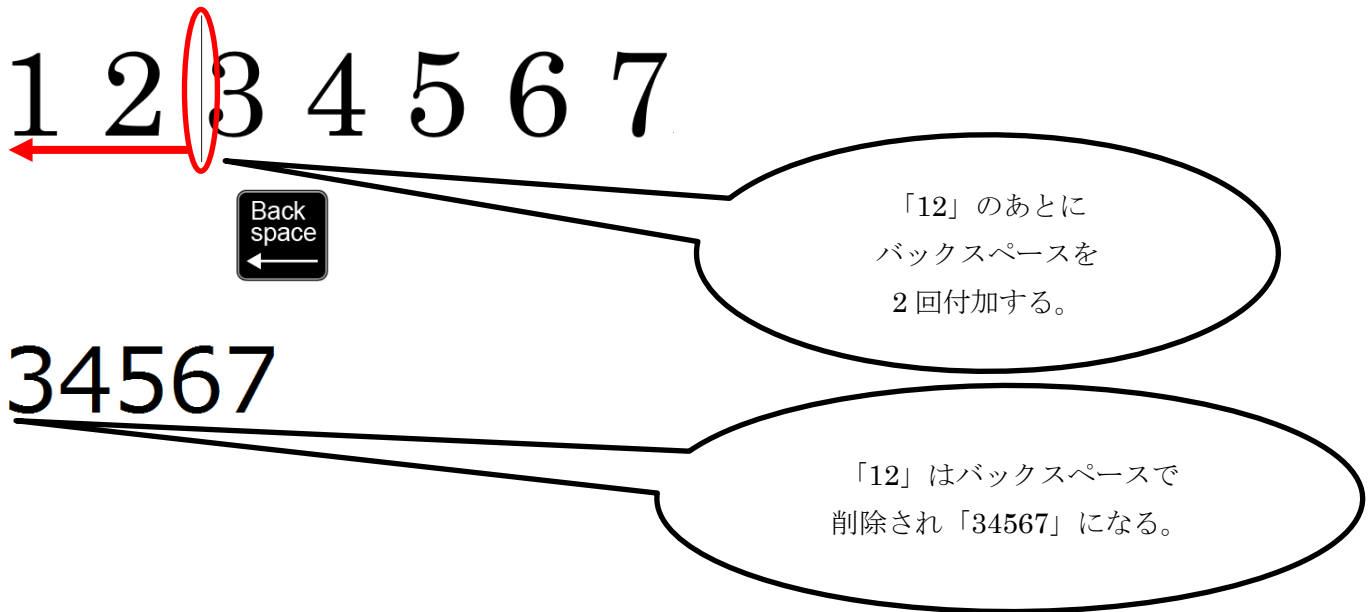
◆文字列の削除：バックスペース付加（MD200 シリーズ/MD210 シリーズ）

○説明

バーコードデータにバックスペースを入れることで削除が可能です。

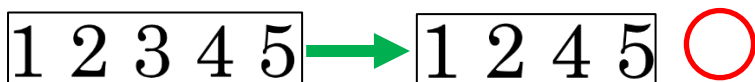
○処理イメージ

例：「1234567」の先頭2文字を削除する（2桁目から2つバックスペースを付加する）

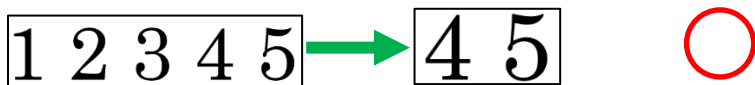


○下記のような設定は可能です。

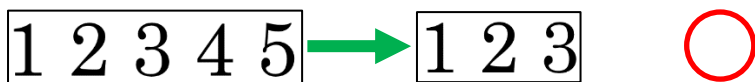
例1：バーコード「12345」から3桁目を消して「1245」と送信する。（部分削除）



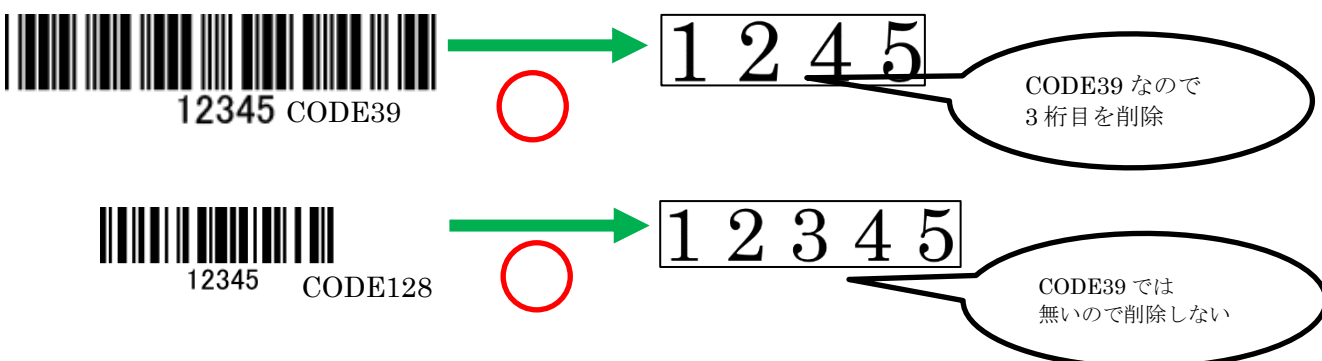
例2：バーコード「12345」の1~3桁目を消して「45」と送信する。（指定した桁から○文字削除）



例3：バーコード「12345」の4,5桁目を消して「123」と送信する（末尾から○文字削除）



例4：バーコードの種類が「CODE39 の場合のみ」3桁目を削除する（削除にコードの条件指定）



○設定手順

1. 下記の2つのコードを読み取ります。



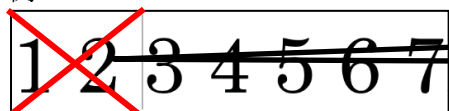
設定開始



8101

2. 削除開始位置を設定してください。

例：



先頭2桁を消す場合は「0→2」



3桁目を消す場合は「0→3」



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

3. 下記のコードを読み取ります。



設定完了

4. 下記の2つのコードを読み取ります。



設定開始

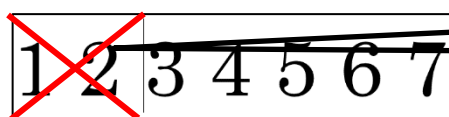


8005

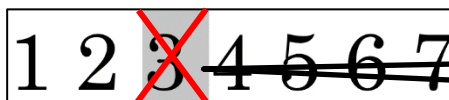
5. バックスペースを付加する回数分、「0→8」を指定します。

※20文字まで削除可能です。

例：



先頭2文字を消す場合は
「0→8」を2回。



1文字を消す場合は
「0→8」を1回

削除する文字数分、「0→8」を読み取ります。



0



8

6. 下記のコードを読み取ります。



設定完了

>>次ページに続きます。

7.最後に下記コードを上から順に読み取り、設定完了です。

※コードの種類を指定して反映することも可能です。

下記の「0407」コードの代わりに完全版マニュアルのコード毎に記載のある、「グループ選択を挿入」項目のコードを読み取ることで対応可能です。



設定開始



0407



0



1



設定完了